

藤波こども園の環境整備についてご寄附のお願い

学校法人 藤波学園

理事長 河合 吉輝

平素は藤波こども園の保育教育にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

人間形成の基礎を培うという乳幼児期に、1日の大半近くをこども園で過ごす子どもたちにとって、心地よく安心して過ごせる場所であることや、自分の思いを受け止めてくれる大人がいつも身近にいることはとても大切です。それは人に対しての愛着や信頼感、自己肯定感、今をよりよく生きる力や喜びに繋がります。藤波こども園では、一人ひとりの育ちを見守り、子どもの気持ちに寄り添いながら、信頼関係を築いていくことを大切にしています。そして、相手の気持ちや思いを理解し、共存していく豊かな心を「遊び」という体験活動を通して育てています。自然に恵まれた環境の中で、満足のいくまで遊ぶ経験や自分で判断し選択して遊ぶことを大切にしています。ホームという縦割りの異年齢集団による「みんな兄弟、大きな家族」のように過ごしている温かいこども園です。また、保護者の皆様とともに子どもの成長を喜び合い、共感し合い、協力し合って保育教育を進めています。

さて、この度、藤波こども園では園児たちの遊ぶ自然環境をさらに充実させたい、経年劣化しつつある遊具や園内備品を修繕、新規購入したいと考え、その資金としてご寄附をお願いすることになりました。

具体的な園庭の環境についてですが、近年の温暖化により夏を中心として気温の高い日が多くあり、子どもたちには熱中症の心配をしなければならなくなってきました。現園舎建設時には、夏は幼児棟を自然の風が南北に通るよう設計されましたが、今ではエアコンがフル稼働しており、園舎にはよしずを立て、サンシェードを張る等の日除けをして温度上昇を防いでいます。

園庭は樹木、テント、パラソル等により日除け対策をしていますが、日陰を作る樹木がなかなか育たないのが課題となっています。定期的に土壌改良を重ねることで樹木の育ちを助長し、冬の北西の風も厳しいためもう少し本数を増やし、常緑樹だけでなく落葉樹も配し、園庭が子どもたちにとって季節を感じられ、よりよい遊びの場となるよう作っていきたいと考えています。また、乳児棟の南側も日差しが厳しいため、それを遮るため樹木を配し、木漏れ日の中で小さい子どもたちが快適に遊べる場となるよう計画していきたいと思っています。

また、木製総合遊具をはじめとする園庭遊具や備品についても、経年劣化により修繕や新規購入の必要なものがあります。

それらを実施していくためには、現在の施設型給付費では十分ではないため、皆様のご寄附をお願いしたいと思っています。藤波こども園の遊びの環境整備についてご理解いただき、寄附のご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

なお、藤波学園は特定公益増進法人ですので、寄附をされた場合、税制上の優遇措置が認められています。確定申告をしていただくと一定額の控除を受けることができます。ご活用いただければ幸いです。